

— 風 險 快 報 —

台 風 速 報

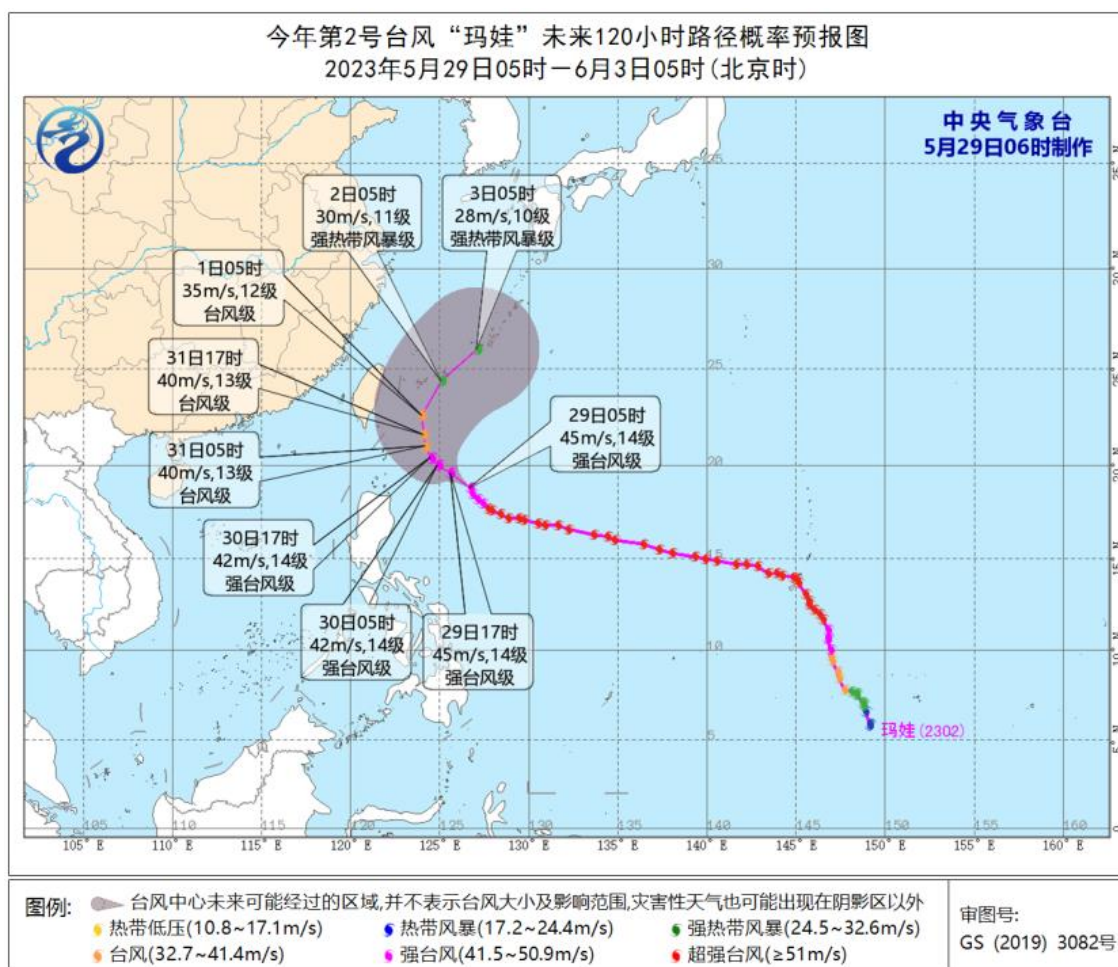
2023年5月29日発表-台風2号「マーワー」が福建省沿岸に接近！

今年発生した2つ目の台風である「マーワー(超大型台風)」は28日の夜のうちに、大型台風へと勢力が弱まりました。29日午前5時現在、台風の中心は台湾省花蓮市の南東側約780kmの海上(北西太平洋)にあり、中心付近の最大風力は14級(45 m/秒)、7級風圏の半径は450~550km、10級風圏の半径は180~230km、12級風圏の半径は80~120kmとなっています。

「マーワー」は時速約10kmで北西方向に移動しており、台湾東側の海上に接近する見込みですが、29日夜以降は台風の様子は緩やかとなるとされています。また、30日以降は北方向推移しながら、台風の勢力は弱まると予測されています。これにより、29日から30日にかけて、福建省沿岸では6~8級の強風が吹く見込みです。

これらの地域に所在する企業においては、万全の防災対策をお勧めします。

中央气象台が5月29日10時に発表した予想図は以下の通りです。



QRコード(右図)より、中央气象台の「台風進路予想図」を参照のうえ、最新の台風情報を確認してください。





緊急対応策についてのアドバイス

台風被害を効果的に防止・軽減するためには、台風接近・上陸前に十分に各種対策を講じておく必要があります。基本的な点検項目について、下表に整理しますので、ご参考ください。

分類		項目	確認
建物等	屋根	屋根の防水層の劣化や亀裂の点検・修理ができているか。 (特に過去に浸水、漏水があった場所)	
		カラー鋼板等の接合部位に緩みや反り上がりがいないか。	
		屋根の排水溝や下水道に詰まりはないか。	
		避雷設備（避雷針、引き下げ線、接地極など）を点検しているか。	
		屋根周辺の風の影響を受けやすい部位に変形や捲れ、ネジの脱落がないか。	
	外壁	外壁にひび割れや剥がれがないか。留め付け金具に緩みがないか。	
	窓、ドア	風の影響を受けやすい窓やドアはしっかり固定されているか。	
		窓やドアにひび割れや破損がないか。破損している箇所は修復されているか。	
		面積が広い窓ガラスは、木板を打ち付けて補強する対策が取られているか。	
		ガラス割れ・飛散防止に、テープを貼り付ける等の対策が取られているか。	
	シャッター	耐風性を高めるため、支柱を設置するなどの補強を行っているか。	
		ガイドレールに腐食がないか。シャッターをスムーズに開閉できるか。	
	仮設建物	水濡れの恐れがある仮設建物に、貨物や生産設備等を保管していないか。	
屋外	屋根の看板、排気管、吊り物などを補強し、強風で倒れないように固定措置を行っているか。		
	敷地内の旗竿、カーポート、樹木などの補強を行っているか。		
貨物、在庫品等	屋内保管	在庫は外壁、窓から少なくとも0.5メートル離れているか。	
		屋内の配水管の直下に重要な設備や在庫品が置かれていないか。	
		高価な精密機器設備や原材料、製品等は、パレット上に置くなどして少なくとも30cm以上嵩上げしているか。	
		屋外の水が屋内へ浸入するのを防止するため、作業場、倉庫、電力設備などの建物入口に十分な土のうや遮水板（20cm以上）を設置しているか。	
		緊急時に物資を守るための防水シート・カバーなどを用意しているか。	
		重要な生産データ等はバックアップを安全な場所に保管しているか。	
	屋外保管	台風が来る前に、屋外の保管貨物を屋内の安全な場所に移動させているか。	
		強風で飛ばされやすい保管物について整理整頓、清掃を行っているか。	
		屋内への移動が難しい保管物は防水シートでカバー・固定しているか。	

排水等	排水ポンプと十分な燃料を準備しているか。	
	構内の水が溜まりやすい場所（土地が低い箇所、排水管の径が不十分な箇所など）を把握しているか。水が滞留した場合の対応を検討しているか。	
	建物周辺・屋上の排水溝は詰まっていないか。	
	外部の排水が構内に流入しないよう、公共の排水システムに繋がる排水系統に、排水の逆流防止バルブを設置しているか。	
緊急対策	気象情報や、工場周辺の河川や湖の水位上昇をモニタリングしているか。	
	緊急対応チームを組織し、役割を明確にしているか。チームメンバーには、災害警戒要員、緊急指揮要員、災害救助要員、事後復旧要員が含まれる。	
	気象警戒レベルに沿った行動プランを整理しているか。（例：青色暴雨警報＝工場の屋根の状況を点検開始 赤色台風警報＝生産停止に備えた準備を開始し、人員を移動する等）行動プランを文書化し、社員に周知しているか。	
	屋内パトロール計画を策定し、屋根の漏水状況、排水管の排水状況、地上の冠水状況などのチェックし、適宜報告するルールがあるか。	
従業員避難 防災訓練	構内が広く浸水した場合を想定した避難に関する教育や訓練を実施しているか。	
災害復旧計画 (BCP)	ハード面の対策に加え、災害が発生した後の早期復旧を行うための対応手順や、工場が被災して生産不能となった場合の代替生産の可否などについて検討しているか。	

瑛得管理諮詢（上海）は、中国・上海に設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社です。お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。

下記連絡先までお気軽にご照会ください。

<連絡先>

瑛得管理諮詢（上海）有限公司（日本語表記：インターリスク上海）

上海市浦東新区世紀大道 100 号 上海環球金融中心 34 楼 T10 室-2

TEL:+86-(0)21-6841-0611（代表）



瑛得公众号